

# 『奈良公園基本戦略』の 進捗状況について

平成25年7月31日

奈良県まちづくり推進局奈良公園室

1.	「奈良公園基本戦略」の基本方針	1
2.	奈良公園の施策・事業の体系図	2
3.	施策事業を設置する箇所(位置図)	3
4.	基本方針の実現に向けた施策・事業(維持)	4
5.	基本方針の実現に向けた施策・事業(利活用)	15
6.	基本方針の実現に向けた施策・事業(取組体制)	33

# 1. 「奈良公園基本戦略」の基本方針

## 基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の価値を積極的に維持し、さらなる魅力の向上や魅力の創出に努める。

基本方針の実現に向けた

3つの柱

維持

① 価値を守る

利活用

② 魅力を活かす

取組体制

③ 県が主体的に取り組む

### ○ 対象エリア

奈良公園周辺一帯（右図参照）

JR奈良駅から東側で、南は高畑町と奈良町を含み、北側は東大寺転轄門（正倉院西側）付近まで

### ○ 施策実施の基本スタンス

・本基本戦略で掲げる具体的な施策・事業は、各ゾーンの資源への影響について十分に検証を行い、できる限り影響を小さくして実施するものとする



## 2. 奈良公園の施策・事業の体系図

### 維持

#### ① 価値を守る

◇ 自然資源の保存  
・良好な自然資源の保存

◇ 歴史・文化資源の保存  
・優れた歴史・文化の保存

◇ 公園資源の保存  
・快適な公園空間の保存

① 天然記念物の維持・管理

② 植生の維持・管理

③ 行催事の維持・継承

④ 工作物・建築物の維持・管理

⑤ 植生植栽の維持・管理

⑥ 土地の買入れによる資源への影響を抑制

⑦ 建築や造成等における資源への影響を抑制

1 春日山原始林の再生

2 奈良のシカの適切な保護・育成

3 奈良公園植栽計画の策定

4 奈良公園の行催事への支援

5 吉城園主棟の改修

6 公園施設等の適切な維持管理

7 植生植栽の適切な維持管理

8 古都法に基づく土地の買入れ

9 文化財保護法、古都法等に基づく許認可

### 利活用

#### ② 魅力を活かす

◇ 移動の円滑化  
・移動の円滑化の向上  
・わかりやすい案内誘導

◇ にぎわいづくり  
・既存ストックの有効活用  
・既存イベントの評価・改善  
・切れ目のないイベントの実施  
・効率的なイベントの運営

◇ コンベンションによる振興  
・既存ストックの有効活用

◇ 周遊環境の向上  
・快適な滞在空間

◇ 来訪者の満足度の向上  
・奈良公園のブランド化  
・奈良公園の思い出づくり

◇ 情報発信と享受  
・奈良公園の魅力の発信と享受

⑧ 安全・安心な歩行環境整備

⑨ 移動支援機能の導入

⑩ 公共交通機関の利用環境の向上

⑪ マイカーの流入抑制

⑫ 動線を踏まえた適切な案内サイン整備

⑬ 多様な公園利用者をもてなす施設等の整備

⑭ 観光資源であるシカの適切な保護・育成のための施設整備

⑮ 立地環境にふさわしい低層の宿泊施設等の整備

⑯ 既存イベントの内容充実・改善

⑰ 新たなイベントの企画と実施

⑱ イベント支援機能を有する施設整備

⑲ 魅力あるコンベンション機能の充実のための施設整備

⑳ 来訪者に配慮したトイレの整備

㉑ 夜間の安全性の向上

㉒ 周遊を支援する休憩施設等の整備

㉓ 旅行商品等の企画・実施

㉔ 魅力的なお土産の企画・実施

㉕ 便益施設の充実

㉖ 奈良公園への来訪による魅力の享受と意識の向上

㉗ 奈良公園の魅力の積極的な情報発信とその機会の増大

10 歩道の整備

11 管理事務所の移転

12 周遊バスの導入

13 若草山などへの移動支援機能の導入

14 登大路駐車場のバスターミナル化

15 大仏前駐車場予約システムの活用

16 行基広場屋根の整備

17 公共交通の利用促進

18 パーク&バスライドの実施

19 公園内の流入抑制の推進

20 案内サインの整備

21 デジタルサイネージの整備

22 吉城園周辺地区の整備

23 水辺空間の有効活用

24 飛火野周辺地区の整備

25 高畑町周辺地区の整備

26 奈良公園のあかりを用いたイベント等の継続実施

27 奈良公園の魅力を活かしたイベントの企画・実施

28 イベント支援施設の整備

29 新公会堂周辺地区の整備

30 トイレの整備

31 照明施設の整備

32 県庁舎周辺地区の整備

33 社寺と連携した滞在型観光商品の企画・実施

34 鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のおみやげ企画・実施

35 飲食・物販施設の使用許可の見直し

36 修学旅行生の誘致

37 奈良公園の解説の充実

38 情報発信・共有システムの構築

39 県外キャンペーンの実施

### 取組体制

#### ③ 県が主体的に取り組む

◇ 関係者の総力の結集 28

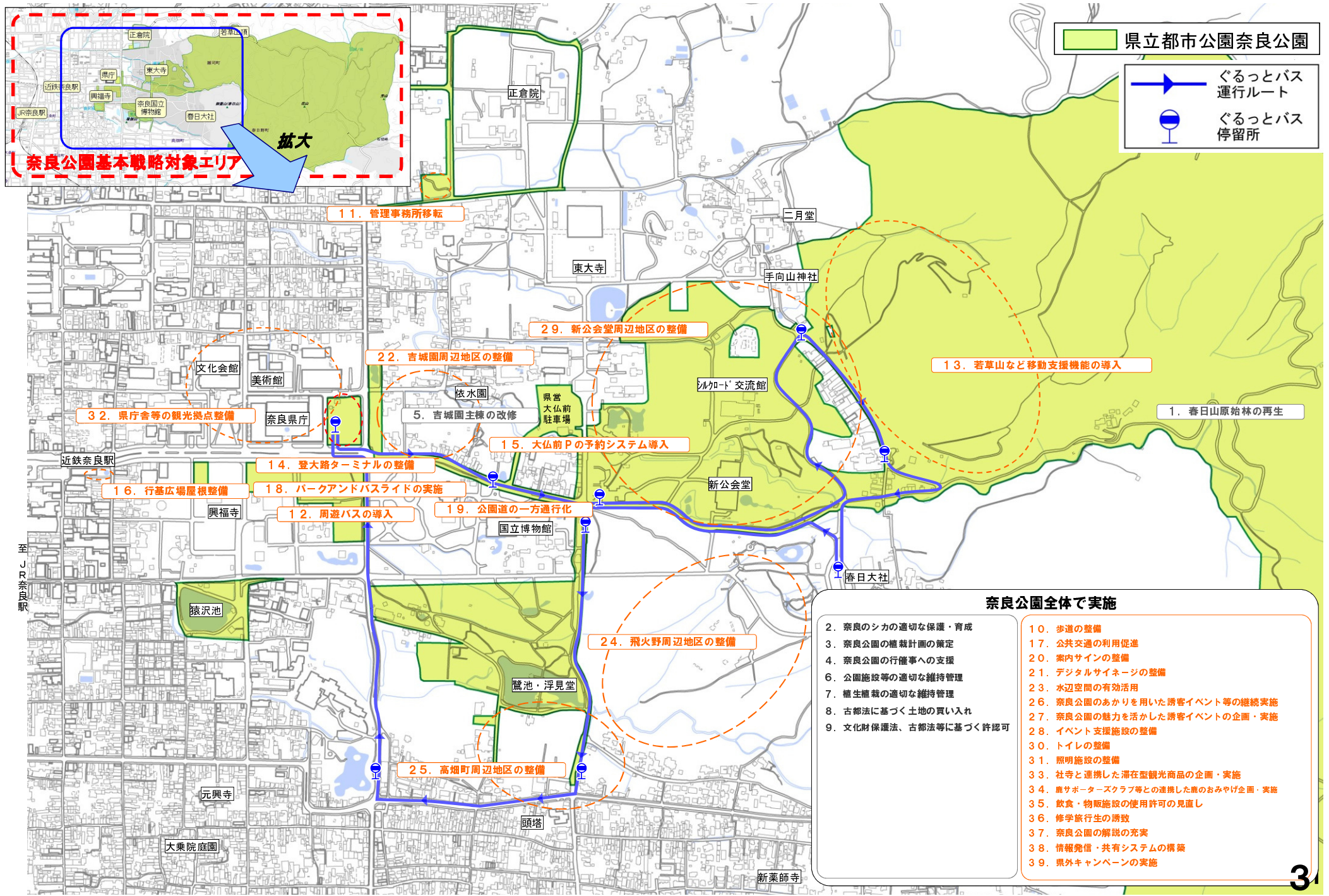
◇ 施策の推進 29

40 社寺、民間・NPO、関係行政機関との連携

41 県民や来訪者等への意見聴取

42 PDCAサイクルの確実な実施

### 3. 施策・事業を実施する箇所（位置図）



維持

### 1. 春日山原始林の保存

①

#### ◇ 春日山原始林保全計画の策定

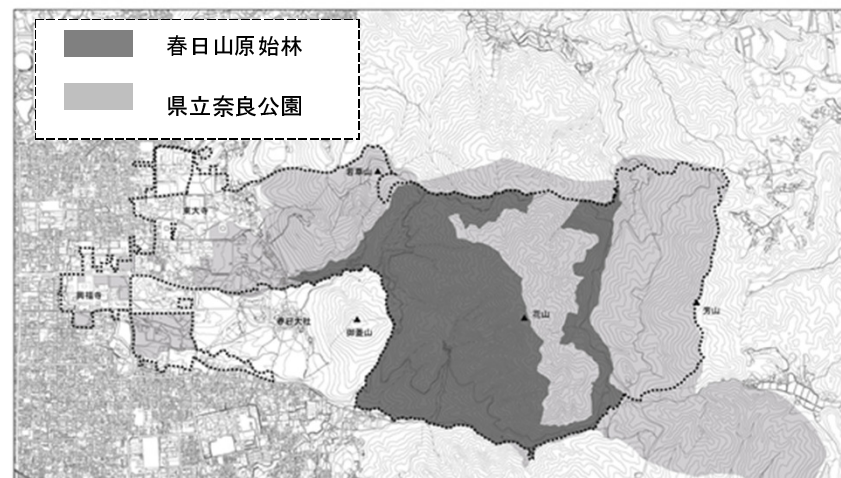
- ・ 春日山原始林の保全再生を進め、次代に継承するため、長期目標を設定する。
- ・ そのうえで、喫緊の課題に対応するための効果的な方策を確立するために、実証実験の実施とその検証により、着実に保全再生につながる取り組みを推進する。

#### 春日山原始林保全計画検討委員会

第1回 平成25年2月8日

第2回 平成25年4月26日

委員長	吉田 博宣	京都大学 名誉教授
委員	川瀬 浩	春日山原始林の自然を考える 市民連絡会 代表
	佐野 純子	奈良インターカルチャー 代表
	田中 和博	京都府立大学大学院 教授
	前迫 ゆり	大阪産業大学大学院 教授
	松井 淳	奈良教育大学 教授
	宮城 俊作	奈良女子大学 教授
	山倉 拓夫	大阪市立大学 名誉教授



#### 花山・芳山地区保全・利活用部会

第1回 平成25年3月18日

部会長	田中 和博	京都府立大学大学院 教授
委員	花山院 弘匡	春日大社 宮司
	田中 利典	金峯山寺 執行長
	宮城 俊作	奈良女子大学 教授
	寺岡 伸吾	奈良女子大学 准教授

維持

### 1. 春日山原始林の保存

①

#### ◇ 春日山原始林保全計画の策定

- ・ 春日山原始林の保全再生を進め、次代に継承するため、長期目標を設定する。
- ・ そのうえで、喫緊の課題に対応するための効果的な方策を確立するために、実証実験の実施とその検証により、着実に保全再生につながる取り組みを推進する。

#### 原始林の現状



▲大径木が枯死したあとにできたギャップ（空隙）



▲下層植生が貧弱な林床

#### ◆春日山原始林保全方策の検討

##### 保全再生目標

都市に近接しながらも古都奈良の貴重な財産として維持されてきた春日山原始林が、持続的な森林更新により、巨樹・巨木を含めた樹木・草本で構成され、人や鹿とも共生できる森林となることを目的とする。

#### ◆実証実験の実施

植生保護柵

現在5箇所施工中



▲植生保護柵の設置

#### 今後の取り組み

- ◆ 保全計画の策定
- ◆ 実証実験の継続実施（柵設置、モニタリング調査）
- ◆ ナラ枯れ対策、外来樹種駆除対策の実施 など

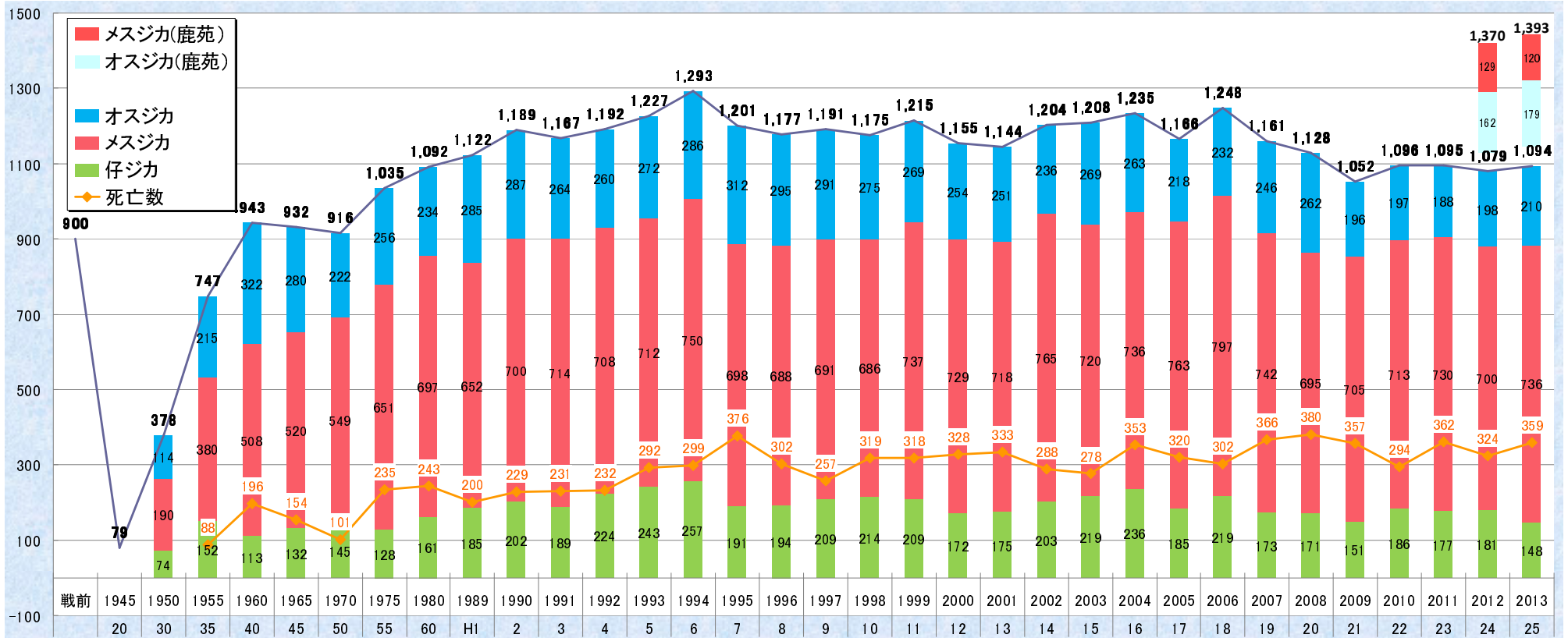
# 4. 基本方針の実現に向けた施策・事業（維持）

維持

## 2. 奈良のシカの適切な保護・育成 ①

◇ 天然記念物「奈良のシカ」を適切に保護・育成するため「奈良のシカ保護管理計画」を策定する。

奈良のシカ生息頭数調査



・シカの生息数は増加傾向  
 生息数 1,094頭  
 (対前年比+15)  
 死亡頭数 359頭  
 (対前年比+35)

- 平成25年度以降の取り組み
- ◆ 検討委員会の設置
  - ◆ フェンス設置及び効果検証調査
  - ◆ シンポジウムの開催
  - ◆ 保護管理計画の策定



## 4. 基本方針の実現に向けた施策・事業（維持）

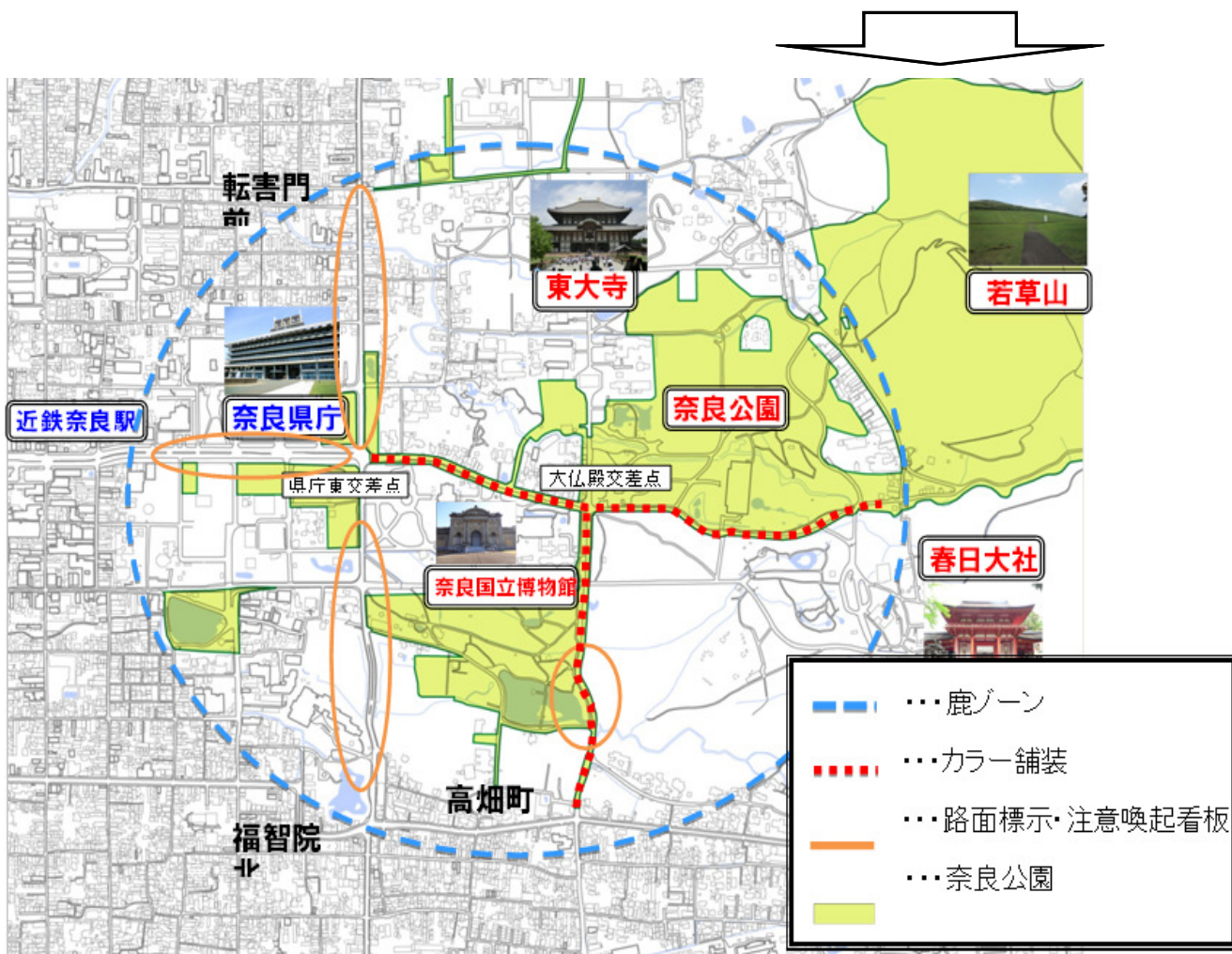
維持

### 2. 奈良のシカの適切な保護・育成（天然記念物の維持管理） ①

利活用

### 19. 公園内の流入抑制の推進（マイカーの流入抑制） ⑪

・奈良公園内の通過交通の抑制、奈良のシカの交通事故からの保護を目的として「鹿ゾーン」を設置し、ドライバーへの注意喚起のための、カラー舗装や路面標示、看板の設置等を実施。



カラー舗装(イメージ)



路面標示(イメージ)